

研究課題番号	4-1907
研究課題名	高 CO ₂ 時代に対応したサンゴ礁保全に資するローカルな環境負荷の閾値設定に向けた技術開発と適応策の提案
研究実施期間	令和元年度～令和3年度
研究機関名	産業技術総合研究所
研究代表者名	井口 亮

1. 委員の指摘及び提言概要

リン供給がサンゴの生育に関与していることを明らかにした点、CO₂濃度 400ppm での P の閾値を示すことができたことは、高く評価できる。また、水温上昇で影響が増幅される可能性があることなど、重要な知見が得られたと考える。遺伝子解析、陸域負荷の実測、室内での実験、モデリングなどの異なる手法を有効に組み合わせて、学術的に新しい知見を得ている。河口流域の土地利用や農業のあり方についての提言などを含め、珊瑚礁の保全に関わる成果をさらに活用することを期待する。

2. 採点結果

評価ランク：S